

# 愛知登文会ニュース 第24号

令和元年 11月1日号

## 1 「公益信託大成建設自然・歴史環境基金」2018年度助成活動報告

愛知登文会では、平成29年に「全国登文会情報交換会」「全国登文会シンポジウム」を開催し、全国の登文会（登録有形文化財の所有者の会）の方々との交流を深めることができました。今年度は、全国の登録文化財の所有者や支援者のさらなる交流の場として「全国登文会フェスタ」を開催しました。

### 全国登文会フェスタ（全体会）

会場：日本陶磁器センター 6月21日（金）

6/21（金）午後より、日本陶磁器センター3階大会議室を会場に、全体会を開催しました。愛知登文会 小栗会長によるあいさつ・趣旨説明に始まり、大阪登文会 寺西会長と神奈川登文会 長島会長にご講演いただくとともに、佐滝氏にコーディネーターを依頼し各登文会の代表者による意見交換を行いました。

日時	内容	参加者
2019.6.21(金) 14:20~ 17:20	① 登録有形文化財所有者の全国組織設立に向けて 講師：寺西興一氏（大阪登文会会長） ② 英国における歴史的建造物の保存活用 講師：長島孝一氏（神奈川登文会会長） ③ 意見交換「東海3県の所有者のネットワーク化をめざして」 パネラー：寺西興一氏（大阪登文会会長）、塚本喜左衛門氏（京都登文会会長）、 石川耿一氏（秋田登文会会長）、小栗宏次氏（愛知登文会会長）、 金澤正剛氏（東京登文会会長）、中野翔彦氏（和歌山登文会会長）、 竹田憲治氏（三重登文会会計）、長島孝一氏（神奈川登文会会長） コーディネーター：佐滝剛弘氏（京都光華女子大学教授）	39名 （講師・事務局含む）



▲日本陶磁器センター大会議室にて開催



▲（左から）寺西氏、塚本氏、石川氏、小栗氏、金澤氏、中野氏、竹田氏、長島氏



### 全国登文会フェスタ（懇親会）

会場：アンティカローマ 6月21日（金）

6/21（金）全体会后、日本陶磁器センター1階のイタリアンレストラン アンティカローマのピアノバーの一角にて懇親会を開催しました。愛知登文会 天野福会長による参加者の紹介の後、大阪登文会 寺西会長の音頭で乾杯。総勢29名の方に参加いただき、料理を楽しみながら交流を深めました。



▲アンティカローマ入口



▲会場となったピアノバーVIPルーム



▲寺西会長による乾杯

**全国登文会フェスタ（見学会）** 全4コース 6月21日（金）、22日（土）

県内の登録文化財の魅力発信のため、見学会を開催しました。「文化のみちコース」では、建築史家の村瀬氏の案内で文化のみちを散策。2つの登録有形文化財と榑木館や文化のみち二葉館を見学しました。「有松コース」では、寛理事の案内で有松のまちを散策。2つの登録有形文化財と山車蔵や市指定有形文化財などのまちの特徴的な建物を見学しました。「半田コース」では、小栗会長の案内で小栗家住宅を見学後、ミツカンミュージアムと旧中笠半六邸（昼食場所）を見学しました。「一宮コース」では、小信中島公民館の柴田館長の案内で墨会館を見学、湊屋倶楽部の大島氏のおもてなしで旧湊屋の見学と食事を楽しみました。

日時	コース名	登録有形文化財	参加者
2019.6.21（金） 10：00～13：00	文化のみちコース（名古屋市東区）	名古屋陶磁器会館、建中寺	10名
	有松コース（名古屋市緑区）	榑橋家住宅、中濱家住宅	13名
2019.6.22（土） 10：00～13：00	半田コース（半田市）	小栗家住宅	26名
	一宮コース（一宮市）	墨会館、旧湊屋	9名



▲名古屋陶磁器会館外壁の解説（文化のみち）



▲建中寺の解説（文化のみち）



▲ミラベルにて昼食（文化のみち）



▲榑橋家住宅の解説（有松）



▲中濱家住宅前で集合写真（有松）



▲庄九郎カフェにて昼食（有松）



▲ウェルカムドリンクをいただく（半田）



▲小栗家住宅前で集合写真（半田）



▲おとうぶ湯薬いしかわ半六邸にて昼食（半田）



▲墨会館の解説（一宮）



▲湊屋倶楽部の紹介（一宮）



▲茶店湊屋にて昼食（一宮）

## 2 全国登文会設立報告

### 登録文化財所有者の会全国ネットワークの誕生

愛知登文会会長 小栗宏次

令和元年6月22日、半田市の小栗家住宅書院にて、国登録有形文化財全国所有者の会（通称：全国登文会）設立総会が開催され、文化庁登録部門江島祐輔文化財調査官、愛知県教育委員会文化財保護室洲崎和宏室長補佐同席のもと、国内9つの都府県所有者の会（秋田、群馬、東京、神奈川、愛知、三重、和歌山、大阪、京都）をチャーターメンバーとした全国会が設立しました。この会は、国内ですでに設立された国登録文化財建造物所有者の会の情報交換の場であった「連絡会」を発展的に解散し、新たに設立した全国組織となります。理事長には、大阪登文会の寺西会長、副理事長に、京都登文会の塚本会長、東京登文会の渡邊事務局長、愛知登文会の小栗の3名が、事務局長に大阪登文会の青山事務局長が選出されました。全国登文会は、所有者と国、自治体、関係団体、市民との連携、保存、活用、広報、ならびに情報交換を主な目的とし、地域性を考慮しつつ緩やかな全国ネットワークを目指していくものです。この様子は共同通信社を通じて全国の新聞各社に情報提供され、その後全国登文会事務局には、問い合わせの連絡も入っていると事です。

8月29日には、大阪阿倍野の寺西家住宅にて全国登文会第一回正副理事長会議が開催されました。ここでは、全国登文会としての情報共有の方法（メーリングリストの開設）、情報発信（ホームページの開設）、所有者の会がまだ設立されていない都道府県に対して設立のサポートをすることなどが申し合わされ、まず初めに滋賀県、千葉県、岐阜県などがその候補としてあげられました。

また、11月8日には、この秋リニューアルされた、常滑のLIXILライブミュージアムにて第二回全国登文会正副理事長会議を開催し、それぞれの進捗状況の確認と次年度の活動内容について協議する予定です。

関係の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



▲参加者集合写真



▲愛知登文会 小栗会長のあいさつ



▲総会の様子



## 県内の登録文化財の活用事例紹介



vol.6

### 三井家住宅（武豊町）

三井その子

三井家住宅は知多半島の武豊町にある江戸時代の庄屋屋敷で平成27年に登録文化財に登録されました。

建物は300年程前に築造されたものですが、大きな庄屋としては家の造りは質素で素朴な屋敷です。又、古文書類は約4万点にのぼり、武豊町民俗資料館に保管されています。

三井家の歴史は古く700年程前京都より知多半島統治のためこの地におり立ってからのこの地域を慈しみ、開拓と発展に近代に至るまで尽力し礎を築きました。

江戸から明治初期まで約100年間庄屋を務め、知多半島の約半分を管轄して功績も多くあり、江戸時代には尾張徳川家より永代苗字と刀を賜りました。

屋敷は平成元年から空家となりましたが遠方の地より大変な思いをしながら守ってきました。

幸いなことに歴史ある屋敷を大切に思い、後世に残すべきという町の有志の方々が平成27年新海孝学会長を中心に庄屋屋敷を守る会が結成され、月2回（第2、第4日）に公開と活動が行われています。最

初は5名から始まり、現在40名となり熱い思いでボランティア活動に取り組んで下さり大変強い思いをしております。

多くの方が来訪され、遠方からも訪ねて下さいます。又、地域の方々の憩いの場として公開日にはお茶会、万歳、落語、古文書講習会、子供フェスタ等が催され、皆様に楽しんでいただいております。

今後も屋敷の修復等、課題も多くありますが皆さんと相談しながらがんばってまいります。



三井家住宅外観



門付け万歳・御殿万歳

### 3 事業実施報告「文化財ガイド育成事業」(2019年度)

あいちのたてもの博覧会(建物特別公開)における建物解説をより魅力的なものとするための事業で、今回で3度目の開催です。「あいたて博」の解説者を中心に、建物ガイドに関心のある方にご参加いただきました。

#### 全2回 文化財ガイド育成のための見学講習

建物見学や意見交流を通して、より魅力的な文化財ガイドを学ぶための講習会です。前半は会場となる登録文化財のモデル解説を行い、後半は参加者の意見交流を行いました。モデル解説あたっては、建築史家の村瀬氏に解説をお願いするとともに、所有者等のご協力のもと特別な場所を見学させていただきました。

第1回は、半田市の小栗家住宅で行いました。土間や主屋のほか、これまでのほとんど公開されてこなかった部屋も見学させていただきました。小栗氏からは、ワークショップを取り入れる等の建物をより楽しんでもらう工夫や、「参加者が勝手に触る・開ける・壊すこと」等の公開時の課題が紹介されました。

第2回は、名古屋テレビ塔で行いました。名古屋テレビ塔は現在、リニューアル工事中ですが、竹中工務店の方にご協力いただき、特別に工事現場を見学させていただきました。脚部に免震装置を設置する様子や、内部の壁が解体され鉄骨があらわになっている風景など、今しか見られない姿を見ることができました。

各回の意見交換では、建物見学の感想とともに、見学者対応や解説内容についての留意事項などを共有しました。解説者の方、ボランティアの方、見学者の方、皆さま各々がご配慮いただくことで、気持ちよい見学会となると思います。どうぞご協力よろしくお願ひいたします。(以下、意見を一部抜粋)

#### ◆見学者対応について

- ・「勝手に触れない・開けない・壊さない」を徹底すること
- ・撮影の可否は事前に確認し、しっかりアナウンスすること
- ・参加者の見守りにはボランティアスタッフの補助が不可欠である

#### ◆解説内容について

- ・解説者に熱意があると参加者も興味がわく
- ・全般的なデータよりは、自身が面白いと感じた箇所を中心に話すが良い

#### ◆解説資料について

- ・所有者としては、紹介リーフレット等は作る機会がないため、ありがたい
- ・絵や写真などを使い、思い出の品になるものを用意したい

	日時	場所	講師	参加者
第1回	2019.9.27(金) 10:00~12:00	小栗家住宅	小栗宏次氏(愛知登文会会長) 村瀬良太氏(建築史家)	7名
第2回	2019.9.29(日) 15:00~17:00	名古屋テレビ塔	村瀬良太氏(建築史家)	17名



▲小栗氏による小栗家の歴史の解説(第1回)



▲工事現場の見学(第2回)



▲意見交換の様子(第2回)

#### 編集後記

今号では、全国登文会フェスタを中心に、全国の登文会との交流と活動についてご報告しました。今後も全国登文会の一員として情報交換と会員の交流を進めていけたらと思います。

また現在、「あいちのたてもの博覧会」を開催中です。今年は記念品として「あいたてカード」をご用意しています。皆様のお申込、ご参加をお待ちしております。開催の様子を次号にて特集いたします。

#### 愛知登文会ニュース 第24号

発行日：令和元年11月1日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

〒460-0005 名古屋市東区東桜2丁目9-34 成田ビル高岳3F

名古屋テレビ塔株式会社内

(TEL) 052-325-2951 (FAX) 052-325-2952

(E-mail) info@aichi-tobunkai.org

(HP) http://www.aichi-tobunkai.org

(Facebook) @aichi.tobunkai

(Twitter) @aichitobunkai (Instagram) aichitobunkai